



国際数理科学協会会報

No.49/2007. 1

編集委員長 藤井正俊

目次

- | | |
|-------------------|----------------|
| * Bylaws2007 の改正 | * 日本学術会議より(再録) |
| * 2007 年総会および年会予告 | * 交換誌のお知らせ |
| * 来年以降の年会予定 | * お知らせおよび依頼 |
| * 研究集会 | * 計報 |
| * 年会費納入について | * 機関会員の利点 |
| * 原稿募集のお願い | * 機関会員募集 |
| | * 会員募集 |

* Bylaws2007 の改正

Notices の充実及び国際的研究交流の推進（研究集会の充実、研究成果の周知）を目的として、Bylaws2007 の改正を下の文案より 12 月 20 日締切りで投票をお願いしました。

『会報 48 号でお知らせしましたように Bylaws2007 原案の可否投票を 12 月 20 日締め切りで行うことをしましたが、“会報 No.48 号”の発行が遅れましたので、会員の皆様にメールで賛否をお尋ねいたします。締め切りは 12 月 20 日です。よろしくお願い致します。

改正点は次のとおりです。詳しくは会報 No.45, 47 号をご覧ください。

(旧) Bylaws2007

(改正) Bylaws2007

Officers (執行役員) の数

fifteen secretaries and a treasurer

twenty nine secretaries and a treasurer

Councils (理事) の数

thirty six members

fifty members

上記を増やす場所

eighteen officers

thirty two officers

これに応じて上記が承認されますと、増員のために皆様よりご推薦を頂く必要があります。その点もお考え頂くと助かります。なお、投票の結果は 1 月号に掲載いたします。

国際数理科学協会

会長

井関 清志』

投票の結果 14 名の賛成、不賛成は零名で Bylaws2007 の改正がなされました。増員された役員は編集担当役員の中の Notices 編集担当 **4 名増**、集会担当役員の中の遠隔研究集会(IVMS)担当 **3 名増**、共同国際研究集会担当 **4 名増**、Prize 担当役員として **3 名増**とに振り分けることにしました。これにより次のようになります。

①執行役員(officers)

- (1) 会長 (2) 前期会長及び次期予定会長
- (3) 次の29人のSecretaries
- 1) 編集担当9名:(1. SCMJ 編集担当 2. Notices 編集担当 3. 会報編集担当
4. ISMS www担当)
 - 2) 集会担当12名:(1.集会担当 2. IVMS 担当 3 Distance Symposium 担当)
 - 3) 経営管理担当4名:(1. 機関会員担当 2. 個人会員担当 3. 交換誌担当)
 - 4) 受賞選考担当4名

(4) 出納官

②会計及び監査 関係役員会 (Board of Trustees)

1. 構成 出納官1 名、監査役1 名、会計委員1 名、前期会計委員1 名
2. 担当(function) 学会の財産を管理し、毎会計年度の予算を作成し、会計報告を行う。
監査役及び会計委員は執行役員会が推薦し、会員の信任投票により決定する。

③理事(Councils)

1. 構成 (1) 執行役員32名、(2) 執行役員以外の海外理事10名、(3) 執行役員以外の国内理事8名
2. 担当(function) (1) 予算、決算、事業の審議、(2) 執行役員会へのadvice
上記海外及び国内理事は執行役員会が推薦し、会員の信任投票により決定する。

この『会報の1ページ目下から5行目から2行目』に書きました個々の担当に増員されました役員について、2名以上の会員による役員候補のご推薦を2月20日締切りでお願い致します。その結果の執行役員候補のお名前を会報3月号に掲載し、投票をお願いし7月から任期を初めていただくことを考えています。任期の期間は今までの方とは異なり、平成21年6月30日といたします。なお、再任は妨げないと思っております。

*** 2007年総会および年会予告**

総会および年会の予定を再録しますが、詳しくは会報 48 号をご覧ください。総会は平成 19 年 8 月 7 日(火)10:30~12:00 に行います。その後、国際数理科学協会の年会を次の日程場所で行う。平成 19 年 8 月 7 日(火)午後より 8 日(水) (分科会の都合により 9 日(木)まで開催可能) 場所: 大阪教育大天王寺キャンパス (JR 環状線天王寺下車又は寺田町下車すぐ) 出来るだけ多くの研究部会開催を御願致します。研究部会を開催されます方は (イ) 責任者 (世話人) (ロ) 研究部会名 (ハ) 開催予定日時 (ニ) 参加予定人数 (ホ) 研究集会を closed にするかどうか (ヘ) SOBA を利用するかどうか (ト) 連絡先および e-mail を記入して下記にお知らせ下さい。会員の研究部会開催申込締め切りは 2 月末日。

連絡先 〒582-8582
柏原市旭ヶ丘 4-698-1
大阪教育大学教育学部数学教室
藤井 正俊 (mfujii@cc.osaka-kyoiku.ac.jp) 宛

参加希望の分科会またはグループ名などの詳細を次号の会報にお知らせする予定です。それ以降の目安を書いておきます。題目の責任者 (世話人) への申込締切りは 6 月 10 日。プログラムが決まりましたら、会報 7 月号に掲載の予定です。なお、SOBA を使った遠隔研究集会 (1 部屋) が可能となる予想です。SOBA については昨年の会報 46 号 3-4 ページにありますから参照してください。

* 来年以降の年会予定

2008 年以降の年会は次のようになっています。

2008 年	開催校	大阪府大	工学部	年会運営委員	栗木進二
2009 年	〃	神戸大	発達科学部	〃	高橋 正
2010 年	〃	大阪大	工学部	〃	八木厚志

* 研究集会

- (1) ISMS 協賛研究集会 (QTNA2007)

**The Second Asia-Pacific Symposium on
Queueing Theory and Network Applications (QTNA2007)**

August 1-August 4, 2007

International Conference Center, Kobe, Japan

Organizing Committee

Wuyi Yue (Konan Univ., Japan, Chair)

Hsing Paul Luh (National Chengchi Univ., Taiwan, Co-chair)

Bong Dae Choi (Korea Univ., Korea)

Hideaki Takagi (Tsukuba Univ., Japan)

Yutaka Takahashi (Kyoto Univ., Japan)

David D. Yao (The Chinese Univ. of Hong Kong, Hong Kong)

Dequan Yue (Yanshan Univ., China)

詳細は昨年の Notices 11 月号を見てください。

- (2) ISMS 協賛研究集会 BIOCOMP2007

Stimulated by some friends, and on the grounds of the successful experience of *BIOCOMP2002* and "*BIOCOMP2005*" Conferences, Prof. L.M. Ricciardi has now been induced to plan another Conference to be held in the same location (Vietri sul Mare, Italy), September 24-28, 2007. The title is ***BIOCOMP2007 - Collective Dynamics: Topics on Competition and Cooperation in the Biosciences.***

The title is motivated by the nature of our sponsors and supporting grants, but the main purpose of this Conference is to bring together a limited number of well-known specialists in the fields of applied mathematics, physics and theoretical biology for an in-depth discussion of model building and computational strategies in some selected areas of the life sciences with special emphasis on theoretical neurobiology, molecular motors and quantitative problems in ecology and population dynamics.

This will be implemented through a program of plenary talks, parallel sessions and a poster session.

The interdisciplinary nature of the conference will allow cross-fertilization of recent advances in applied nonlinear mathematics and computational approaches. Several invited lectures on different topics of biomathematical interest will also be given, especially tailored on the needs of graduate students and young researches.

- (3) ISMS 協賛研究集会 (ICOTA7)

The 7th International Conference on Optimization (ICOTA 7)

Techniques and applications

December 12-December 15, 2007, International Conference Center, Kobe, Japan

Correspondence and Inquiries

Please forward your name and email address to:

Office: Institute of Intelligent Information and Communications Technology (IICT), Konan University

E-mail: ICOTA7@iict.konan-u.ac.jp

ICOTA webpage is: <http://www.iict.konan-u.ac.jp/ICOTA7/>

Communicates by Wuyi Yue

詳しくは昨年の Notices 11 月号および webpage をご覧下さい。

* 年会費納入について

国際数理科学協会会員各位

2006年11月17日

いつも国際数理科学協会へのご協力を頂きありがとうございます。

さて、2007 年度の会費ご請求の時期になりました。

つきましては、下記の会費表をご参考の上、同封の郵便局払い込み票にて会費の納入をお願い致します。

単年度 A 会員 ¥7,000、3 年 A 会員 ¥18,000

単年度 S 会員 ¥3,500、3 年 S 会員 ¥9,000

* S 会員とは、学生会員と高齢会員（70 歳以上）を指します。

なお、2007 年度も 3 年会員のお申し込み受け付けております。また、ご購入頂いている場合は、本代として単年度会員の方は年間 6,000 円、3 年度会員で 3 年分前納して頂く場合は 15,000 円とさせて頂いております。4 年会員で本代のみご請求させて頂く先生方は 5,500 円となっておりますのでよろしくお願い致します。何かご不明な点などありましたら、下記メールアドレスまでお問い合わせ下さい。

国際数理科学協会

会計：辻本

E-mail: trsr@jams.or.jp

昨年会報 48 号で会費納入の件をお知らせしましたが、**該当する方は振込み用紙が同封されている** だけです。ご注意ください。

* 原稿募集の御願い

昨年会報でもお願いしましたように、会報に載せて頂く原稿を募集しております。内容は昨年もお願いましたように、研究のこと、研究集会のこと、学科の紹介、書評など何でも結構です。お互いの交流が密になり、さらに研究が発展することが出来ればよいと思っております。長さは原稿用紙（400 字詰め）4 - 1 2 枚見当でお願いいたします。また、原稿は word で作成していただくと、助かります。ご協力して頂ける方は [原稿は gpg@jams.jp](mailto:gpg@jams.jp) にお知らせくださるようお願いいたします。

* 日本学術会議より(再録)

日本学術会議議長金沢一郎氏より以下の手紙と資料とが送られて来ました。

「科学者の行動規範について」送付について

日本学術会議は、平成 18 年 10 月 3 日開催の第 149 回総会において、声明「科学者の行動規範について」を採択しましたので、お送りいたします。本声明の取りまとめに当たっては、幅広い意見を取り込むため、大学・研究機関や学協会等を対象にアンケート調査を本年 5 月に実施したところ、貴機関の御協力に厚く御礼申し上げます。アンケートの結果概要は、声明の参考 5 及び参考 7 に記載しています。

我々科学者は、科学と科学研究は、社会のために、そして社会とともにあることを強く認識しなければなりません。国内外で起こった科学者の不正行為は、科学そのものの発展を妨げるだけでなく、科学や科学者コミュニティの社会からの信頼を大きく損なうことになりかねず、その防止は私たち科学者が自らの問題として取り組まなければならない重要な課題です。

貴機関におかれましては、本声明を参照して、不正行為の防止を自らの課題ととらえ、それぞれの機関・分野に応じた行動規範と倫理プログラムを策定・実施し、社会の信頼を得て、主体的かつ自律的な科学研究を進めていただきたくお願いいたします。

日本学術会議は、科学者コミュニティにおける議論を喚起し、また、社会との対話を積極的にを行い、科学と社会との健全な関係を築くよう引き続き努力する方針です。

なお、本声明の電子媒体を日本学術会議ホームページで提供しています。

<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-20-s3.pdf>

	総数	1. データ のねつ造	2. データ の改ざん ・偽造	3. 研究の 盗用、論 文の剽窃	4. プライ バシーの 侵害	5. 研究資 金の不正 使用	6. 論文の 多重投稿	7. その他
発生件数	236	13	8	48	7	44	79	37
割合 (%)	100.0%	5.5%	3.4%	20.3%	3.0%	18.6%	33.5%	15.7%
認定件数	150	3	5	31	4	33	52	22
割合 (%)	100.0%	2.0%	3.3%	20.7%	2.7%	22.0%	34.7%	14.7%
認定割合 (%)	63.6	23.1	62.5	64.6	57.1	75	65.8	59.5

当協会に関係深いものは第 6 項ですが、従来通り投稿者に厳密に履行を求めます。

* 交換誌のお知らせ

会員の属する大学等で、最近数学関係の雑誌は大学の法人化などで手に入れるのが経済的に困難なところもあるのではないのでしょうか。ここ協会は諸外国より、有名な雑誌が送られてきています。例えば、次の様な雑誌です。

- (1) Annales de l'Institut Fourier
- (2) Annales of Mathematics
- (3) Bulletin of the Australian Mathematical Society
- (4) Canadian Journal of Mathematics
- (5) Communications on Pure and Applied Mathematics
- (6) Journal of the London Mathematical Society
- (7) Mathematical Proceedings of the Cambridge Philosophical Society
- (8) Memoires of the American Mathematical Society

(9) Quarterly of Applied Mathematics

(10) Rendiconti del Circolo Matematico di Palermo

その他『学士院紀要』などあります。もし、先生の教室でこれらの一部の雑誌を手に入れる事が出来るなら、手に入れたいと言うところが有りましたら、協会に御連絡下さればお話が可能です。メール等 (scm4j@jams.jp) を頂けます様お願い致します。

* お知らせおよび依頼

- (1) 大学の教員の採用は、最近では公募が主流となってきたようです。この会報は 2 ヶ月に一度出しておりますので、会員所属の大学等で公募する際は、協会の方に原稿をメール等 (scm4j@jams.jp) でお送り願えたら、一番近い号に載せて、会員の方々にお知らせし協力したいと思います。
- (2) 個人会員、機関会員を募集しています。メリットは、SCMJ を見るばかりでなく、論文掲載の際の page charge が随分と安くなります。一般的に研究費の減少のあり、是非御活用願いたいと思います。また、投稿してから掲載するまでの時間が他の雑誌に比べてあまりかかりません。どうぞ近くの方に、個人会員又は先生所属の大学等又は教室が機関会員になりますようお勧め下さい。
- (3) シンポジウム、研究集会等予定が決まりましたらお知らせ下さい。会報を用いて案内等したいと思います。協会の方にご連絡下さい。
- (4) 外国との遠隔集会開催などについては、阪大中之島センターの TV 会議システムが便利です。協会に連絡を頂ければ利用料金を負担致します。従来に比べて使い勝手も良くなり新しいサービスの導入も予定されているようです。(<http://www.onc.osaka-u.ac.jp> をご参照下さい)。一方大がかりな遠隔会議システムが必要でないという点では、SOBA を用いた国内での遠隔会議も考えられます。使用説明は会報 No.46 にあります。国内での利用は無料です。遠隔会議、集会のためには、使い慣れておくということも大事です。SOBA の使用実験のアナウンスなども致しますので、お気軽にご参加下さい。
- (5) 会報、Notices が今まで以上に充実します。昨年からは会報、Notices をともに年6回発行しています。特に Notices では、著名な外国人による種々の数学に関する寄稿があります。ご一読下さい。近くの方への会員勧誘にも利用して下さい。

* 訃報： 丘本正先生(阪大名誉教授)は12月14日になくなりました。先生には当協会の名誉編集委員として長く雑誌 *Scientiae Mathematicae Japonicae* の編集に大変ご尽力いただきました。謹んでご冥福をお祈りします。

* 機関会員の利点

個人会員の特典

- (1) online で SCMJ を見ることができます。
- (2) 論文の掲載時に page charge が随分と安くなる。
- (3) Net を用いて国際研究集会を催す時、アナウンス、アブストラクトの作成などお助けいたします。6,000 円を支払うと、hard-copy の SCMJ が一年を通じて手に入ります。
- (4) 10 年間個人会員を続けると、国内会員は 70,000 円、外国会員は US\$600、途上会員は US\$500 を支払うと生涯会員となります。

機関会員の特典

- (1) 本屋より SCMJ を購入すると、print 版 45,000 円であるが、機関会員になると、同額 33,000 円で online 版も見ることができます。
- (2) 会員でない 2 名の方を準会員として登録することができます。これにより、page charge が

会員と同じ扱いになります。

(3) 上の準会員 2 名は online で SCMJ を見る事ができる。

(4) Net を用いて国際研究集会を催す時、アナウンス、アブストラクトの作成などお助けいたします。

大学、研究所等が協会から SCMJ 誌の直接購入すると、今年から online も無料で見るできるようになりました。また、2006 年より発効の機関会員制度により各機関会員に所属の研究者 2 名を会費無料で準会員として登録してすると、準会員が SCMJ に accept された論文を掲載するときの page charge (別刷代金) は会員と同額とすることにしました。

この新しい制度の機関会員の P.R. を、日本国内外 (BRICS 諸国など) 400 大学に向けて、2006 年 1 月から始めています。同時に今迄の SCMJ 投稿者で会員でない方、また、個人会員および (機関会員の) 準会員加入の P.R. も始めています。

両者の P.R. について会員の御支援 (P.R 先大学の教員の方の名前ご連絡頂く) を御願います次第です。

なお大学等の機関会員入会の Form は次のものです。

*Application for Institutional Member of ISMS

Subscription of SCMJ	<input type="checkbox"/> Print + Online (US\$300)
University (Institution)	
Department	
Postal Address where SCMJ should be sent.	
E-mail address	
Person in charge	Name: Signature:
Payment Check one of the two.	<input type="checkbox"/> Bank transfer <input type="checkbox"/> Credit Card (Visa, Master)
Name of Associate Members	1.
	2.

ISMS (JAMS の継続) 会員募集

ISMS の出版物: ISMS は、創刊より約 60 年、国際的に高い評価を得ている *Mathematica Japonica* (M.J.) と、その姉妹誌で *電子 Journal* と *Paper* 誌とを持つ、*Scientiae Mathematicae* (SCM) とを発行してきました。両誌は合併して、“21 世紀 MJ/SCM New Series, *Scientiae Mathematicae Japonicae* (SCMJ)”として、電子版は 2000 年 9 月より発行してきました。印刷版は、1978 年 1 月より、年間 6 冊、700~1200 頁を出版しています。全体として 230 巻を超える、日本で最大量を誇る数理学の雑誌です。その特長は、下の 1)~7) です。

- 1) Editorial Board には、国内だけでなく、海外 15 カ国の著名な研究者 40 名が参加している。
- 2) 世界の research group に論文が紹介され、積極的な交流が推進されている。
- 3) Editor を窓口として直接論文を投稿できて、迅速な referee 及び出版が得られる。
- 4) 有名な数理科学者の original paper や、研究に役立つ survey が、毎号載せられている。
- 5) SCMJ は、世界の有名数理科学者による、極めて興味ある expository paper を、毎号 International Plaza 欄に掲載している。世界各国の図書館へ、広く配布されている。
- 6) 投稿論文は、accept 後 (又は組版後) 待ち時間 0 で発行されます。
- 7) Mathematical Review, Zentralblatt に from cover to cover で review されている。

ISMS の研究集会: (1)研究仲間がゆっくり時間をかけて発表、討論をする、特色ある参集型研究集会が毎年行われ、非会員も含む多数の参加者の、活発な研究交流の場となっている。(2)ISMS には内外の著名な研究者が多数入っておられる。近いうちに内外を結ぶ高い level の研究会が online で行われる事を期待している。(本誌 45 号 3p 及び Notices March 2006 9p を御参照下さい)

ISMS の学術賞: 会員の優れた論文を広く世界に紹介し、更なる研究を奨励するために、ISMS 賞、JAMS 賞、Shimizu 賞、Kunugui 賞、Kitagawa 賞を設けている。(詳しくは本誌 45 号 2p 会則 13 条を御参照下さい)

<ISMS の会員の特典> 1. SCMJ 電子版の購読 (print out も含む) 無料。2. SCMJ print 版の少額での購読 (下表 1)。3. Page charge の discount (下表 2)。

<機関購読会員の特典> 1. 機関内の 2 名の方を準会員として会費無料で登録することが出来る。2. 準会員は会員と同じ page charge の discount を受けることが出来る。

表 1 [雑誌購読費]

	正会員 (1 年)	正会員 (3 年)	機関購読会員	定価
Print	¥ 6,000 US\$ 60, €48	¥ 5,500* US\$ 55, €44	¥ 33,000 US\$ 300, €240	¥ 45,000 US\$ 400, €320
Online	Free	Free		
On-line+print	¥ 6,000 US\$ 60, €48	¥ 5,500 US\$ 55, €44	¥ 33,000 US\$ 300, €240	¥ 45,000 US\$ 400, €320

*3 年会員のみ、雑誌購読費 3 年前分払いの場合は ¥15,000 になります。

著者の方には、SCMJ を 1 冊送料込みで 1,200 円または US \$ 12 で購入できます。

表 2 [ページチャージ]

	Member/Associate Member	Non Member
Paper : P	¥3,850 (US\$ 35, €28)	¥ 4,450 (US\$ 43, €35)
Tex : T	¥ 2,200 (US\$ 18, €14)	¥ 2,800 (US\$ 26, €21)
Js : Js	¥ 1,100 (US\$ 8, €7)	¥ 1,700 (US\$ 16, €13)

表 3 [今年の会費]

Categories	国内会員	海外会員	途上国会員
単年度 A 会員	¥7,000	US\$ 50, €40	US\$ 30, €24
3 年 A 会員	¥18,000	US\$ 120, €96	US\$ 70, €56
単年度 S 会員	¥3,500	US\$ 30, €24	US\$ 20, €16
3 年 S 会員	¥9,000	US\$ 70, €56	US\$ 50, €40
生涯会員**	¥70,000	US\$ 600, €480	US\$ 500, €400

**過去 10 年以上、正会員であった方に限る

但し、A 会員は正会員を指し、S 会員は、学生会員と高齢会員(70 歳以上)を指します。

国際数理学協会

International Society for Mathematical Sciences

〒590-0075 堺市堺区南花田口町 2-1-18 新堺東ビル内

Tel: (072)222-1850 / Fax: (072)222-7987 URL: <http://www.jams.or.jp>